

SHARP®

インフォメーションディスプレイ

形名

PN-C651H

取扱説明書

HDMI®

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に「安全にお使いいただくために」(3 ページ) を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

もくじ

安全にお使いいただくために	3	E-board / MEMO	25
使用上のご注意	5	E-board	25
付属品を確認する	7	MEMO	27
動作条件	8	ファイルを再生する	28
各部の名前	9	再生する	29
設置について	11	再生中の操作	29
機器の接続	12	ワイヤレスディスプレイ	30
電源の接続	14	各種設定メニュー	31
ケーブル処理のしかた	14	メニューの基本操作	31
リモコンの準備	15	映像関係の設定メニュー	32
電池の入れかた	15	システム関係の設定メニュー	34
リモコンで操作できる範囲	15	コンピューター画面の調整について	36
電源の入／切	16	機能制限設定（特別機能）	37
主電源を入れる	16	コンピューターで本機を制御する（RS-232C）	38
電源を入れる／切る	16	接続のしかた	38
タッチ操作	17	通信仕様	38
タッチ操作	17	通信手順	38
その他の機能について	19	RS-232C コマンド一覧表	40
使用上のご注意	19	故障かな？と思ったら	42
基本的な操作	20	アフターサービスについて	44
APPLICATION モードのホーム画面	20	仕様	45
リモコンで操作する	21	使用している知的財産権など	49
ファイルエクスプローラー	24	設置時の注意事項（ご販売店・設置業者様用）	50

付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。

※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

※ クラス A 機器の技術基準に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。

USB 端子、ミニ AV 入力端子、HDMI 入力端子、D-sub 入力端子、音声入力端子

お願い

※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのお客様で相談窓口までご連絡ください。

※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。

残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。

※ お客様または第三者が、この製品の使いかたを誤ったときや静電気・電氣的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。

※ 重要な内容は、必ず USB メモリーに記録し保管してください。

※ 当社では、内蔵メモリーの記録内容の保護および損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。

※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。

その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」「注意」に区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号の意味 (図記号の一例です。)



記号は、**気をつける**必要があることを表しています。



記号は、**してはいけない**ことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。本機や重いものの下敷きにしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。



電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。付属の電源コードは AC100V 用です。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。火災や感電の原因となります。



ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境で使用しない。火災の原因となります。



本機の裏ぶたを外さない。改造しない。内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。



本機に水がかかるような場所に設置しない。ぬらさない。火災や感電の原因となります。本機の上や近くに花びんなど、水の入った容器を置かないでください。風呂やシャワー室では使用しないでください。エアコン等水を排出する機器にも注意してください。



アースを接続する。アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。



航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。



電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしったり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

⚠ 電源コードは、必ず付属のものを使用する。
付属以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

⚠ 本機近くのコンセントを使用する。
電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する。

⊘ 電源コードは、タコ足配線しない。
タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。

⚠ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。

⚡ 火災や感電を防ぐために、次のことを守る。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

⊘ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。
発熱や発火の原因となることがあります。

⊘ ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

⊘ うつ伏せ、逆さまにして使用しない。
熱がこもり、発熱や発火・故障の原因となることがあります。

⊘ 上にものを置いたり、上に乗ったりしない。
倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

⊘ 風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。
通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。

⊘ 画面を強く押したり、衝撃を与えたりしない。
画面に力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。

⊘ 画面を先のとがった物で押さない。
破損や故障、けがの原因となることがあります。

⊘ 硬いものでこすったり、たたいたりしない。
破損してけがの原因となることがあります。

⚡ 移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルを外す。
コードやケーブルが引っかかり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除く。
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。
内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。
(内部の清掃費用については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。)

⚠ 乾電池の使用にあたっては、次のことを守る。
使いかたを誤ると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液漏れによる機器の腐食、手や衣類を汚す原因となります。

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- プラス(+)とマイナス(-)の向きは、表示に従って正しく入れてください。
- 新しいものと、一度使ったものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違うものを混ぜて使わないでください。同じ形でも電圧の異なるものがあります。
- 消耗したときは、速やかに交換してください。
- 長時間使わないときは、電池を取り出してください。
- 廃棄するときは、プラス(+)とマイナス(-)をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。
- 火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしないでください。

⚠ 乾電池から液が漏れて皮膚や衣服に付いたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流す。また、漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受ける。
皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。

⊘ 本機の温度が高くなる部分に長時間触れない。
低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

- ・ 本機の電源「入」時は、画面に触らないでください。画面に触れると、正しく動作しない場合があります。その場合は、本機の電源を入れ直してください。
- ・ タッチパネルを接続しているコンピューターに他の USB 機器が接続されている場合、タッチパネル入力中に USB 機器を動作させないでください。正しく入力できない場合があります。

お手入れのしかた

必ず主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

◆キャビネットの部分

- ・ 汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- ・ 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ・ ベンジン、シンナーなどは、使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- ・ 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

◆画面の部分

- ・ 画面の表面は、柔らかい布（レンズクロスやガーゼなど）で軽くからぶきしてください。硬い布でふいたり、強くこすったりすると、表面に傷がつかますのでご注意ください。
- ・ 画面にほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。
- ・ 画面の保護のため、ほこりのついた布、しめった布や化学ぞうきんでふきとらないでください。
- ・ 汚れた布は使用しないでください。傷つく場合があります。

ツメ、鉛筆などの硬いものや鋭利なもので操作しないでください

電磁波妨害に注意してください

- ・ 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

周囲温度は 5℃～ 35℃の範囲内でご使用ください

- ・ 別売品取り付け時の周囲温度は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると周囲温度が変わる場合があります。

低温になる部屋（場所）でご使用の場合

- ・ ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- ・ 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

直射日光が当たる場所で使用しないでください

熱気は避けてください

- ・ 直射日光が当たると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- ・ 温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- ・ 液晶や部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- ・ 急激な温度差がある部屋（場所）で使用すると、画面の表示品位が低下する場合があります。

長時間で使用にならないとき

- ・ 長時間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

海外では使用できません

- ・ 本機を使用できるのは日本国内だけです。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

結露（つゆつき）について

- ・ 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。）

使用が制限されている場所

- ・ 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

LED バックライトについて

- ・ 本機に使用している LED バックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、点灯しないときは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

連続稼働時間と保証について

- ・ 当製品は、1 日 16 時間以内での使用時間を前提に設計されています。1 日 16 時間を越える連続稼働使用は保証対象外となります。

安定した動作のために

- ・ 本機を安定して動作させるため、1 日に 1 回再起動が必要です。

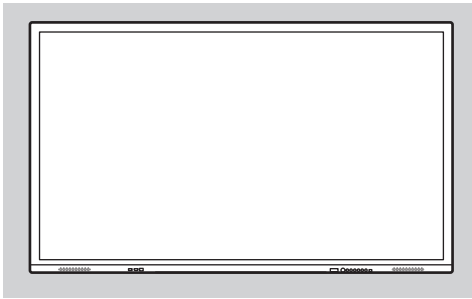
取扱説明書について

- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- インテル、Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- Google、Chrome OS および Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Ethernet は米国ゼロックス社の登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standards Association の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Arm および Cortex は、米国およびその他の地域における Arm Limited（またはその子会社）の登録商標です。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

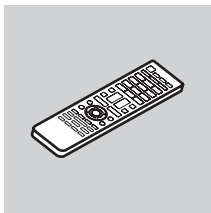
付属品を確認する

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

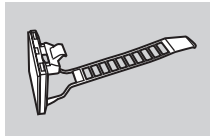
☐ 本体:1台



☐ リモコン:1個



☐ ケーブルクランプ(貼付式):3個



☐ 電源コード(AC100V用・約3m):1本

☐ リモコン用乾電池(単4形):2本

☐ CD-ROM(ユーティリティディスク・Windows用):1枚

☐ STUDYNETスモールパッケージ版ライセンス証書:1枚

☐ セットアップマニュアル:1部

☐ 保証書:1部

☐ タッチペン:2本

☐ トレー:1個

☐ トレー取付ネジ(M3x15):5個

☐ USBケーブル(約3m):1本

☐ ブランクシール:1枚

前面のSHARPロゴを隠したいときは、上から貼ってください。

☐ ワイヤレスアダプター:1個



※ CD-ROM 内のソフトウェアの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。

動作条件

ハードウェア	USB ポート (2.0 準拠) を有すること インストール時に CD-ROM ドライブが必要
OS	Windows 8.1 (32 ビット版 / 64 ビット版)、Windows 10 (32 ビット版 / 64 ビット版)
	macOS v10.14、v10.15
	Google Chrome OS バージョン 74 以降

本機で付属のソフトウェア (Windows) を使用する場合は、以下の条件を満たす必要があります。

CPU	インテル Core i5-6360U 以上 インテル Core i7-6650U 以上を推奨
映像出力	垂直周波数 60Hz 以上で出力できること
メモリー	4GB 以上
ハードディスク	空き容量 5GB 以上 (データ保存のための空き容量が別に必要)

タッチパネルを使用するときは、付属の USB ケーブルをコンピューターに接続します。

タッチパネルは、各 OS の標準ドライバーで動作します。Mac については、マウスモードでのみ動作します。

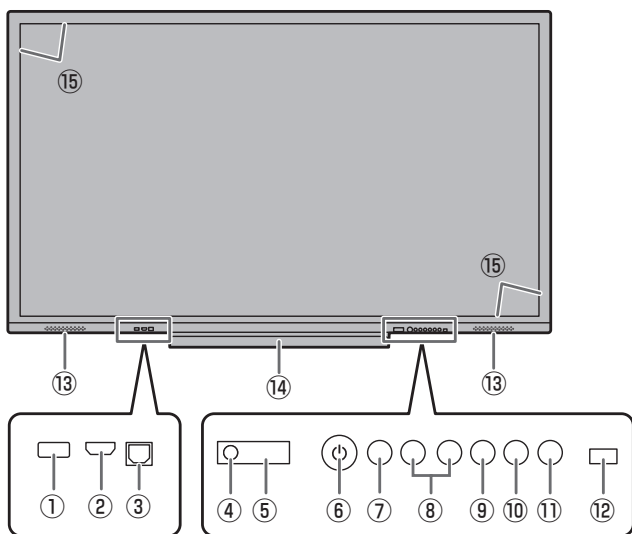
ペンソフトは付属の CD-ROM からインストールします。

インフォメーションディスプレイダウンローダーをインストールすると、各ソフトウェアの最新版の確認と最新版のダウンロードができます。

各ソフトウェアのインストールについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

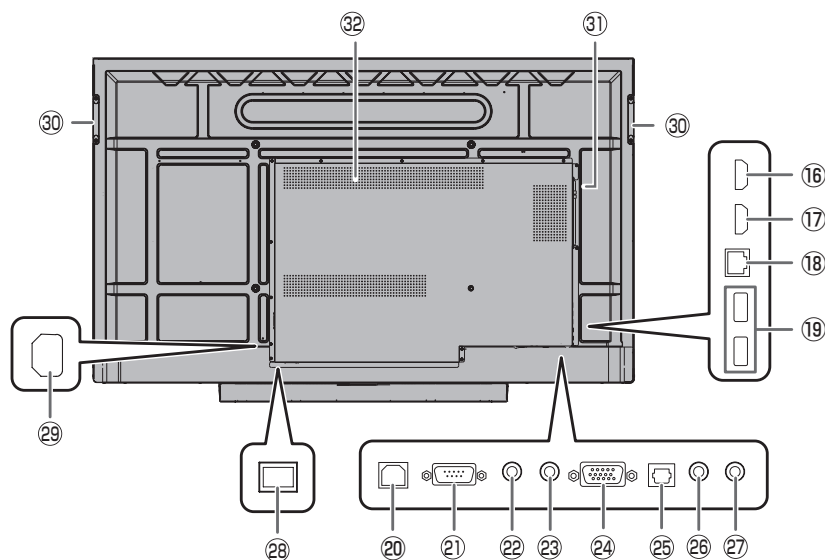
各部の名前

■ 前面



- ① USB 端子 (USB 2.0 準拠) (12 ページ)
- ② HDMI 1 入力端子 (13 ページ)
- ③ TOUCH PANEL 端子 1 (13 ページ)
- ④ 電源ランプ (16 ページ)
- ⑤ リモコン受光部 (15 ページ)
- ⑥ POWER (電源) ボタン (16 ページ)
- ⑦ FREEZE ボタン (21 ページ)
- ⑧ VOLUME + / - (音量調整) ボタン (21 ページ)
- ⑨ タッチ入 / 切ボタン
タッチパネルの「入」 / 「切」を切り換えます。
- ⑩ メニュー (MENU) ボタン (22 ページ)
- ⑪ INPUT (入力切替) ボタン (22 ページ)
- ⑫ 明るさセンサー
- ⑬ スピーカー
- ⑭ トレー
- ⑮ 赤外線受発信部

■ 後面



- ⑬ HDMI 3 入力端子 (13 ページ)
- ⑭ HDMI 2 入力端子 (13 ページ)
- ⑮ LAN 端子 (13 ページ)
- ⑯ USB 端子 (USB 2.0 準拠) (12 ページ))
- ⑰ TOUCH PANEL 端子 2 (13 ページ)
- ⑱ RS-232C 入力端子 (13 ページ)
- ⑲ 音声出力端子 (13 ページ)
- ⑳ 音声入力端子 (13 ページ)
- ㉑ D-sub 入力端子 (13 ページ)
- ㉒ デジタル音声出力 (光) 端子 (13 ページ)
- ㉓ ミニ AV 入力端子 (13 ページ)
- ㉔ ミニコンポーネント入力端子 (13 ページ)
- ㉕ 主電源スイッチ (16 ページ)

- ㉖ 電源接続端子 (14 ページ)

③① 取っ手

取っ手の取り外しには、M6 用六角レンチが必要です。
取り外しは、お買いあげの販売店にご相談ください。

③② 拡張スロット (OPS)

別売品を利用して、機能を拡張する際に利用します。(別売品の発売をお約束するものではありません。)
Windows 10 コンピューターを接続している場合、Windows 10 のログイン画面表示中は、本機は電源待機状態に移行しません。

！ご注意

- ・ 接続機器がスリープ状態のときに本機の電源を切ると、接続機器が故障する場合があります。接続機器のスリープ状態への移行操作やタイマー設定は避けてください。

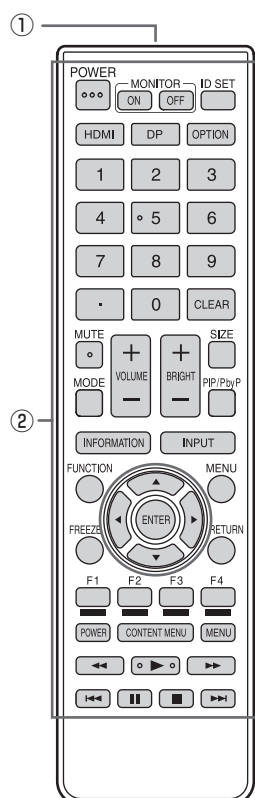
③③ 通風孔

！ご注意

- ・ 取っ手や別売品の取り付け、取り外しは、お買いあげの販売店にご相談ください。

各部の名前

■ リモコン

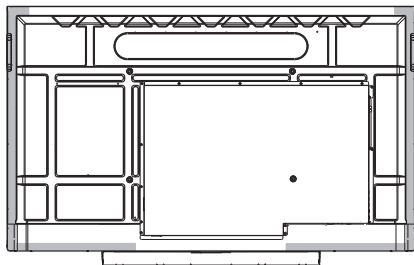


① 発信部

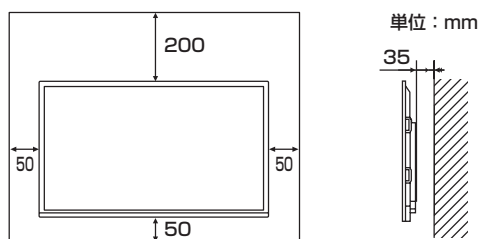
② 操作ボタン (21 ページ)

設置について

- 本機は屋内用です。
- VESA 規格に準拠したスタンドや取り付け金具が必要です。
- 本機は重量がありますので、設置や取り外し、移動の際は
お買いあげの販売店にご相談ください。
- 本機を壁掛けや天吊りなどで使用する場合は、特別な技術
による工事が必要です。工事は、専門の取り付け工事業者
にご依頼ください。お客様ご自身による工事は一切行わな
いください。取り付け不備、取り扱い不備による事故、
損傷については、当社は責任を負いません。
- 本機は水平面に対し垂直の状態で使用してください。
- 移動するときなどは、取っ手または下図の  の部分
を持ってください。画面やトレーを持たないでください。破
損や故障、けがの原因となることがあります。

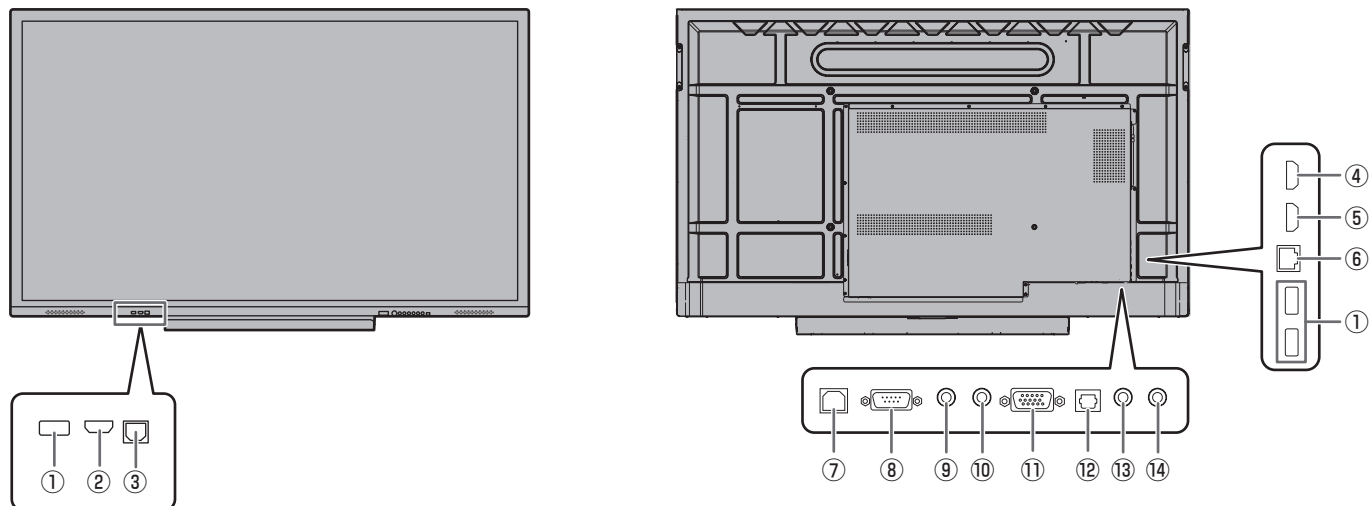


- 本機は周囲温度 5℃～35℃の範囲内でご使用ください。
熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保ください。



- ケースに入れて設置する場合や複数台並べて設置する場合
など空間の確保が困難な場合、周囲温度が 5℃～35℃を
超える場合は、ファンを設けるなど、周囲温度が 5℃～
35℃になるよう対処してください。
- 別売品取り付け時の周囲温度は、別売品の説明書をご確認く
ださい。別売品を付けると周囲温度が変わる場合があります。
- 通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上がると
故障の原因となることがあります。
- 発熱する機器の上に本機を置かないでください。
- 直射日光やライトなどの強い光が当たる場所で使用しない
でください。本機は赤外線を利用したタッチパネルのため、
正しく動作しない場合があります。
- 本機を 2 台以上接近して使用する場合は、赤外線受発信部
が他のディスプレイの赤外線受発信部に影響を与えないよ
うにしてください。

機器の接続



！ご注意

- 接続ケーブルの取り付け／取り外しは、主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。接続する機器の説明書も併せてご覧ください。
- 接続の際、入力端子と出力端子を間違えないように注意してください。誤動作や故障の原因となる場合があります。
- 端子が破損・変形したケーブルを使わないでください。無理に接続すると故障の原因となる場合があります。
- 本機は法令上、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどの機器を経由して接続してください。
- ネットワークには、通信内容を盗み見られたり、不正にアクセスされるなどの危険があります。安全が確保されたネットワークで使用してください。

ご参考

- タッチパネルを使用するときは、付属の USB ケーブルをコンピューターに接続します。
- 接続するコンピューター（ビデオカード）によっては、正しく表示されないことがあります。
- 「D-SUB」でコンピューターの画面を初めて表示させたときや、そのコンピューターの設定を変更したあとは、画面の自動調整を行ってください。映像調整メニューの「画面調整」、「自動調整」で自動画面調整されます。
- 再生機器からスピーカーなどへ音声を直接出力した場合、本機の映像が音声から遅れる場合があります。再生機器と本機の音声入力端子、本機の音声出力端子とスピーカーなどを接続し、本機経由で音声を出力してください。

① USB 端子 (USB 2.0 準拠) (5 V, 500 mA)

- USB メモリーやワイヤレスアダプター（付属）を接続します。
ワイヤレスアダプター（付属）を使用するときは、後面の USB 端子に接続します。(30 ページ)
- 前面の USB 端子は、入力モードに合わせて切り換わります。(映像入力端子に接続されたコンピューターで使用する場合は、TOUCH PANEL 端子とコンピューターを接続する必要があります。)
- 後面の USB 端子は、APPLICATION モードで使用します。(入力モードを変えても、切り換わりません。)
- USB メモリーを取り外すときは、取り外し処理を行ってください。(13 ページ)
コンピューターに接続している場合の取り外し方は、コンピューターの説明書をご確認ください。

対応する USB メモリーについて

ファイルシステム	FAT32
容量	32GB まで (最大ファイルサイズ 4GB)

- セキュリティ機能や書き込み保護機能のある USB メモリーは使用しないでください。
- USB 端子に挿入可能な形状の USB メモリーをお使いください。特殊な形状の USB メモリーは挿入できない場合があります。また、無理に接続しないでください。端子の破損や故障の原因となる場合があります。

！ご注意

- 前面の USB 端子に USB メモリーを接続している場合は、入力モードを切り換えないでください。USB メモリーのデータが破損する恐れがあります。USB メモリーを取り外してから入力モードを切り換えてください。USB メモリーにデータを保存する場合は、後面の USB 端子に USB メモリーを接続してください。

② HDMI 1 入力端子

- 市販の4Kに対応したHDMI ケーブル(HDMI 規格認証品)で接続します。
- この端子は HDMI CEC に対応していません。
- コンピューター接続時、本機の電源を切ったあとに再度入れると、アプリケーションのウィンドウサイズが変わる場合があります。その場合、ウィンドウサイズを最大化するか、アプリケーションを再起動してください。

③ TOUCH PANEL 端子 1

- HDMI 1 入力端子に接続したコンピューターでタッチパネルや前面 USB 端子を使用するとき、USB ケーブルをコンピューターに接続します。

④ HDMI 2 入力端子

⑤ HDMI 3 入力端子

- 市販の4Kに対応したHDMI ケーブル(HDMI 規格認証品)で接続します。

⑥ LAN 端子

- パワーセーブモードが「しない」の時、ネットワークに接続して「Wake On LAN (Magic Packet)」機能を利用することができます。

⑦ TOUCH PANEL 端子 2

- 後面の映像入力端子に接続したコンピューターでタッチパネルや前面 USB 端子を使用するとき、USB ケーブルをコンピューターに接続します。

⑧ RS-232C 入力端子

- 市販のRS-232C ストレートケーブルを使ってコンピューターに接続すると、本機をコンピューターから制御することができます。
- 本機の端子はメス型コネクタです。

⑨ 音声出力端子

- 出力される音声は、入力モードにより異なります。
- ケーブルを接続すると、スピーカからの音声が消音され、この端子からの音声のみが出力されます。
- 音声メニューの「低音」「高音」「バランス」を調整することはできません。

⑩ 音声入力端子

- 市販の音声ケーブル（ミニステレオジャック）で接続します。音声ケーブルは抵抗がないものを使ってください。

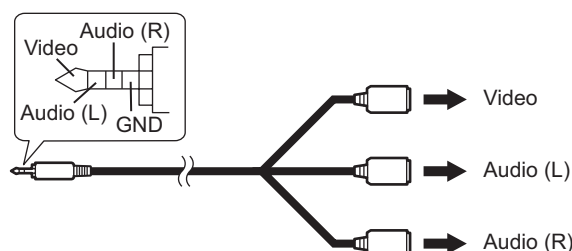
⑪ D-sub 入力端子

⑫ デジタル音声出力（光）端子

- 本機に入力された音声出力されます。
- 市販の音声デジタルケーブルで接続します。
- 出力される音声は、入力モードにより異なります。

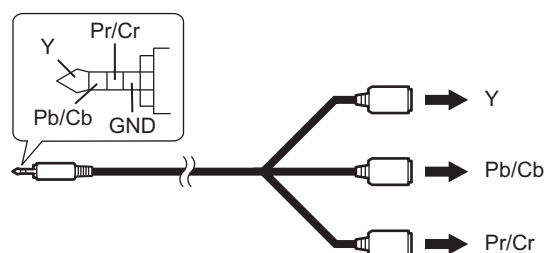
⑬ ミニ AV 入力端子

- 入力モードを「VIDEO」に切り換えてください。
- 市販の変換ケーブルで接続します。



⑭ ミニコンポーネント入力端子

- 入力モードを「COMPONENT」に切り換えてください。
- 市販の変換ケーブルで接続します。
- コンポーネント端子には国際規格がないため、ケーブルの端子を色別に接続しても映像が乱れる場合があります。その場合は、正しく表示されるように端子の接続先を変更してみてください。
- 音声の入力は「Mini AV 入力端子」を使用してください。「音声入力端子」は使用できません。Video/Audio(L)/Audio(R)/GND の 4 極プラグのケーブルを使用してください。Audio(L)/Audio(R)/GND の 3 極プラグでは音声出力ができません。



■ USB メモリーの取り外しかた

1. ファイルエクスプローラーを起動する。(24 ページ)
2. 取り外す USB メモリーの をタッチする。

電源の接続

！ご注意

- 電源コードは必ず付属または指定のものを使用してください。



警告

アースを接続する。

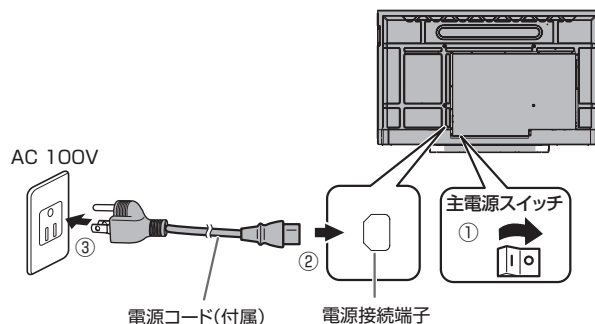
アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。

本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。

電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。

付属の電源コードはAC100V用です。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。

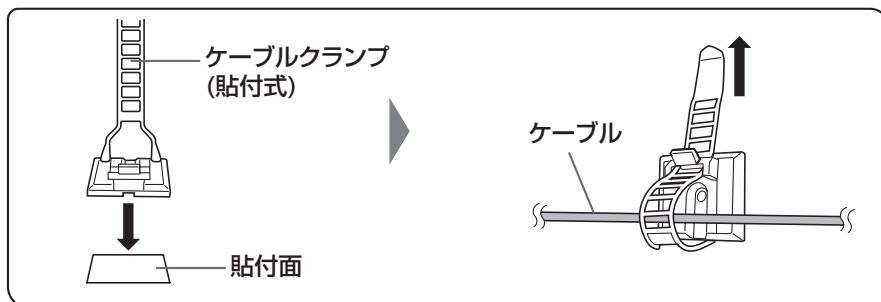
1. 主電源スイッチを「切」にする。
2. 電源コード（付属）を電源接続端子に差し込む。
3. 電源コード（付属）のプラグをコンセントに差し込む。



ケーブル処理のしかた

電源コード、ディスプレイ後面に接続したケーブルは、付属のケーブルクランプで固定することができます。

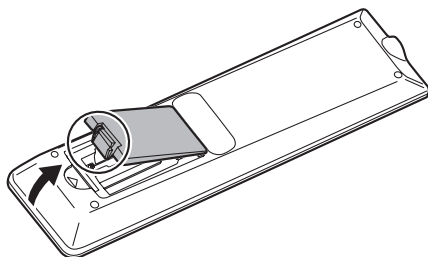
付属のケーブルクランプ（貼付式）は、貼付面のほこりなどを取り除いてから平らな面に貼り付けてください。通風孔などには貼り付けしないでください。



リモコンの準備

電池の入れかた

1. ▲部に指をかけ、カバーを引き上げる。



2. 付属の乾電池（単4形×2本）をリモコンに入れる。

リモコン内部の表示に従って、プラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れてください。

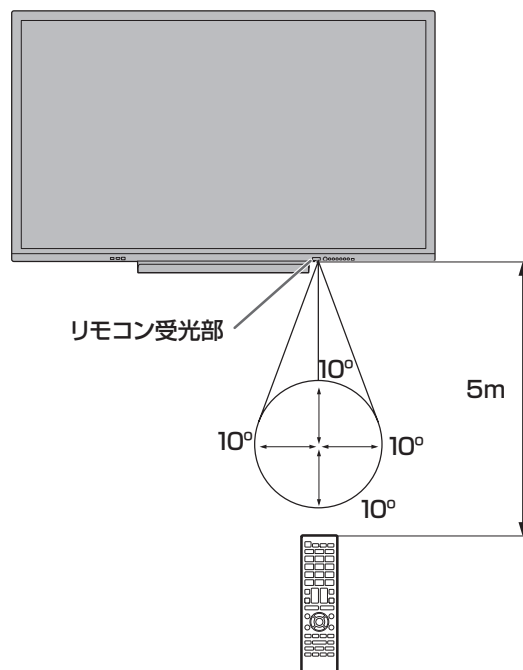
3. カバーを元に戻す。

ご参考

- 電池が消耗したときは、早めに新しい乾電池（市販品）と交換してください。
- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがあります。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。

リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から約 5m、上下左右に約 10° 以内です。



ご参考

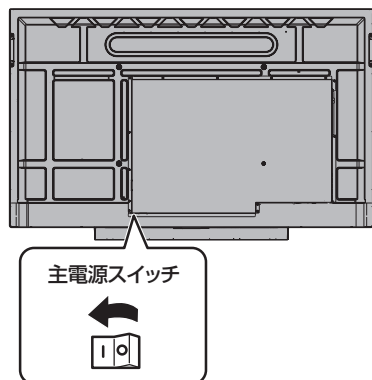
- 落したり、踏んだりして衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。

電源の入／切

！ご注意

- 本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の電源を入れてください。
- 電源の切／入は、必ず約 5 秒以上の間隔を空けてください。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。

主電源を入れる



主電源を入れると、電源待機状態になります。

！ご注意

- 主電源の切／入は、主電源スイッチで行ってください。主電源「入」の状態での電源コードの抜き差しや、プレーカーの切／入などは行わないでください。

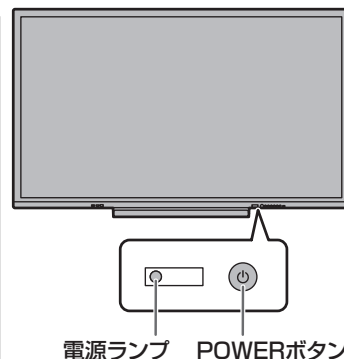
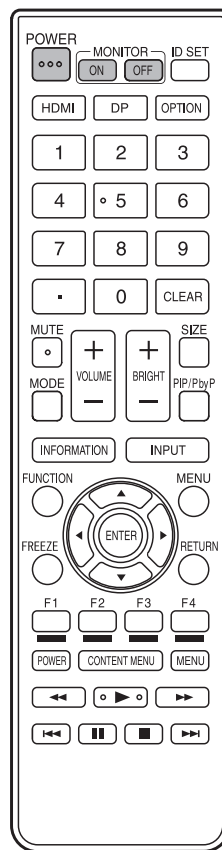
ご参考

- 「HDMI CEC 連動」が「する」に設定されているとき、主電源を入れると、電源ランプが赤色と青色の交互に約 25 秒間点滅します。この間、本機の電源を入れることはできません。

電源を入れる／切る

リモコンや本体の POWER ボタンを押すたびに、電源を入／切することができます。

リモコンの MONITOR ON ボタンで電源入、MONITOR OFF ボタンで電源切することもできます。



状態	本機の状態
青色点灯	電源「入」
赤色点灯	電源「切」(電源待機状態)

ご参考

- 初めて電源を入れると、設定画面が表示されます。
- 主電源が「切」の場合、電源を入れることはできません。

タッチ操作

タッチ操作

本機で利用できるタッチ操作は、OS やアプリケーションにより異なります。また、そのタッチ操作による働きも異なります。詳しくは、OS のヘルプやアプリケーションの説明書でご確認ください。

タッチ操作	OS	
	Windows 8.1/10	Chrome OS
シングルタップ	○	○
ダブルタップ	○	○
スワイプ	○	○
画面端からのスワイプ	○	○
ドラッグアンドドロップ	○	○
フリック	○	○
プレスアンドホールド	○	○
スライド/パン	○	○
ズーム	○	○
プレスアンドタップ	×	○
ローテート	○	○

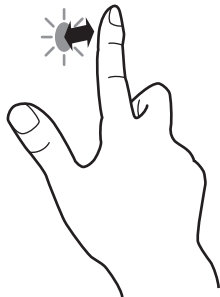
ご参考

- Mac については、マウスと同等の操作となります。

■ 指／タッチペン共通の操作

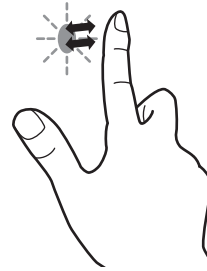
シングルタップ

マウスの左クリックとして動作します。
指／タッチペンでタッチしてください。



ダブルタップ

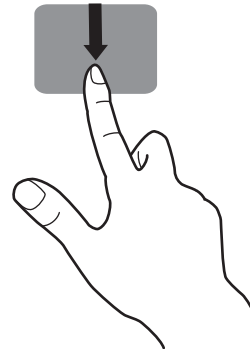
マウスのダブルクリックとして動作します。
指／タッチペンで素早く 2 回タッチしてください。



指でダブルタップするときは、1 度目のタッチのあと、指を画面から十分に離してください。距離が十分でない場合、ダブルタップできません。

スワイプ

指／タッチペンで触れたあと、離さないまま移動し止めます。



画面端からのスワイプ

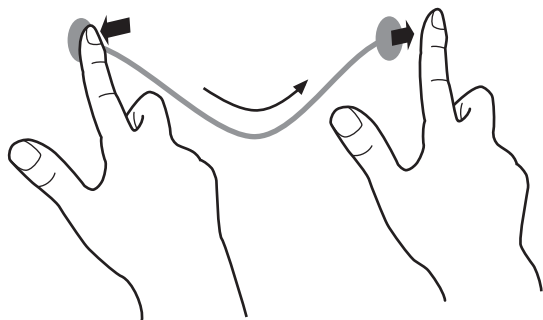
画面端を指／タッチペンで触れたあと、離さないまま横に移動し止めます。



タッチ操作

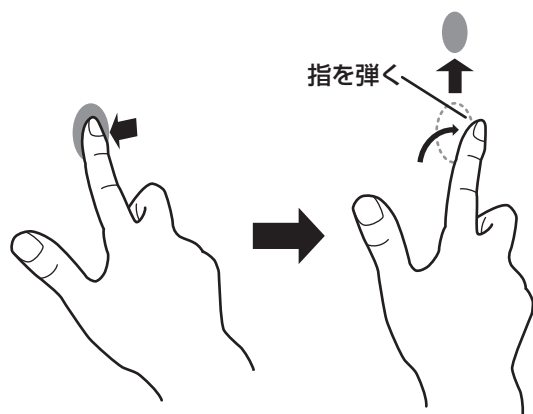
ドラッグアンドドロップ

マウスのドラッグアンドドロップとして動作します。
指／タッチペンで触れたあと、離さないまま移動します。移動が完了すると、指／ペンを離します。



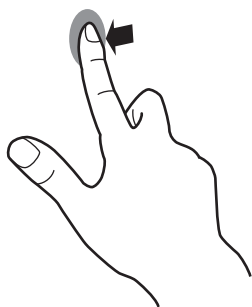
フリック

指／タッチペンを行いたい機能がある方向へ弾くように移動させます。



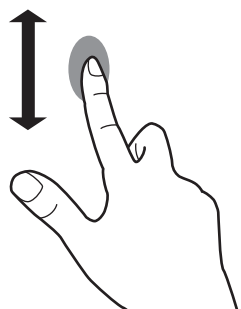
プレスアンドホールド

マウスの右クリックとして動作します。
指／タッチペンをしばらく押さえてから、指／タッチペンを離します。



スライド／パン

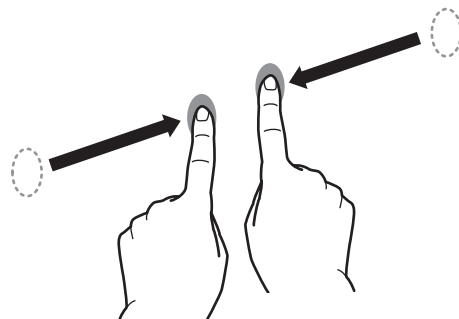
指／タッチペンを触れたまま動かし、画面をスクロールさせます。



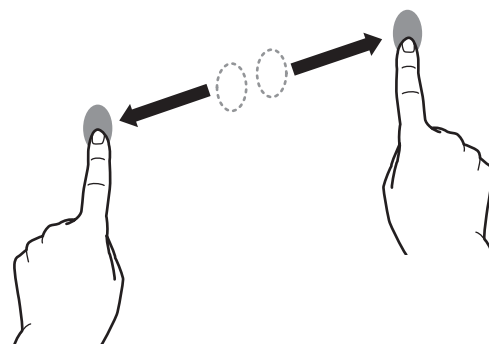
■ 指の操作

ズーム

拡大／縮小ができる画面で使います。
2本の指で画面に触れ、そのまま2本の指を近づけると、画面が縮小します。離すと画面を拡大します。



縮小



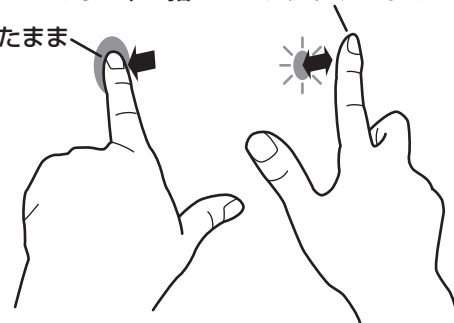
拡大

プレスアンドタップ

マウスの右クリックとして動作します。
1本の指で画面を触れたまま、もう1本の指で画面をシングルタップします。

もう1本の指でシングルタップする

1本の指は触れたまま



ローテート

回転表示ができる画面で使います。
 回転する中心点を 1 本の指で触れます。その指はそのまま動かさず、もう 1 本の指で回転させる方向に指を動かします。



ご参考

- 以下の場合、正しく動作しない場合があります。
 - タッチ動作が素早いとき
 - 2 点間の距離が小さいとき
 - 2 点が交差するとき

その他の機能について

Windows 8.1/10 では、入力パネルの機能が使えます。
 機能については、Windows のヘルプを参照してください。

入力パネル：

画面上にソフトウェアキーボードと手書き認識を持つ入力パネルが表示されます。

Windows 8.1/10 で Microsoft Office のインク機能を利用することができます。

手書きのコメントを書いたり、手書き認識をすることができます。
 詳細は、Microsoft Office のヘルプを参照してください。

使用上のご注意

- タッチペンは、タッチパネルの操作以外に使用しないでください。
- ペン先を強く押さえないでください。
- 赤外線受発信部と操作するタッチペン・指の間に、障害物があると正しく動作しません。タッチペンを持つ指や服の袖が画面近くにあっても正しく動作しません。
- タッチ時にタッチペンを倒し過ぎると、タッチ位置が正しく検出できない場合があります。
- 画面の端で入力できない場合は、タッチペンをゆっくり動かしてください。
- インバータ蛍光灯が近くにある場合、正しく動作しない場合があります。
- タッチペンのペン先に汚れや異物が付いている場合は、取り除いてください。画面が傷つく原因となります。
- ログイン時の画面でペンの位置がずれる場合があります。その場合は、キーボードやマウス等で操作してください。
- USB ケーブルが抜けた場合、USB ケーブルを接続し直してもタッチパネルが正しく動作しない場合があります。その場合は、コンピューターを再起動してください。
- ペン先や指を画面から離すときは、十分に離してください。距離が不十分な場合、画面に触れていなくてもタッチと認識されます。

基本的な操作

APPLICATION モードのホーム画面

入力モードを APPLICATION モードに切り換えると表示されます。



- ①  ファイルエクスプローラーを起動します。(24 ページ)
-  E-board を起動します。(25 ページ)
-  アプリケーションの一覧を表示します。
-  ファイルエクスプローラーを起動します。(24 ページ)
-  システム関係の設定メニューを表示します。(31 ページ)
-  E-board を起動します。(25 ページ)
-  EShareServer を起動します。(30 ページ)

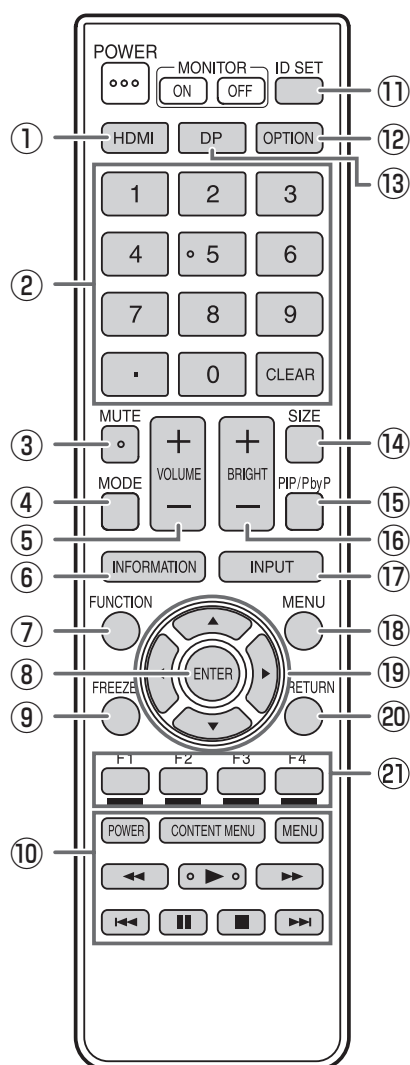
- ② 画面をタッチすると「」「」が表示されます。

タッチすると設定メニューが表示されます。

-  前の画面に戻ります。
-  APPLICATION モードのホーム画面に戻ります。
-  MEMO を起動します。(27 ページ)
-  サイドメニューを表示します。(31 ページ)
-  入力切替メニューを表示します。(22 ページ)

- ③ システム関係の設定メニューを表示します。

リモコンで操作する



① HDMI

入力モードをHDMI 1、HDMI 2またはHDMI 3に変えます。

② 数字入力ボタン

LAN の設定などで使用します。

③ MUTE (消音)

音声を一時的に消します。

もう一度押すと元の音量に戻ります。

④ MODE (カラーモード切替)

映像入力のモード (APPLICATION 以外) のとき、押すたびに以下の順でカラーモードを切り換えます。

標準 → あざやか → 高照度カラー → 標準…

- ・ 高照度カラーとは、周囲が明るい場所に適した色合いでの表示になります。

⑤ VOLUME + / - (音量調整)

+ や - を押して音量を調整します。

⑥ INFORMATION (状態表示)

映像入力のモード (APPLICATION 以外) のとき、入力端子と入力信号を表示します。

⑦ FUNCTION (機能)

特別機能メニューを表示するときに使用します。(37 ページ)

⑧ ENTER (実行)

設定を確定します。

⑨ FREEZE

ディスプレイに表示されている映像を静止して表示します。

POWER ボタン、MUTE ボタン、VOLUME ボタン以外のボタンを押すと解除されます。

残像現象が起こる場合があります。映像を長時間静止しないでください。

⑩ ファイル再生または HDMI 接続機器操作用ボタン

ファイル再生で使用するとき、再生するファイルにより動作するボタンが異なります。

「HDMI CEC 連動」が「する」の場合、HDMI 接続された対応機器を操作することができます。

⑪ ID SET

本機では使用しません。

⑫ OPTION

入力モードを APPLICATION または OPS に切り換えます。

⑬ DP (DisplayPort)

本機では使用しません。

⑭ SIZE (画面サイズ切替)

映像入力のモード (APPLICATION 以外) のとき、押すたびに画面サイズが切り換わります。(23 ページ)

⑮ PIP/PbyP

本機では使用しません。

⑯ BRIGHT + / - (明るさ調整)

+ や - を押して明るさを調整します。

基本的な操作

⑰ INPUT (入力切換)

メニューが表示されます。

▲ ▼ボタンで入力モードを選び ENTER ボタンで決定します。

入力モード	映 像	音 声
APPLICATION	APPLICATION	APPLICATION
HDMI 1	HDMI 1 入力端子	HDMI 1 入力端子
HDMI 2	HDMI 2 入力端子	HDMI 2 入力端子
HDMI 3	HDMI 3 入力端子	HDMI 3 入力端子
D-SUB	D-sub 入力端子	音声入力端子
VIDEO	ミニ AV 入力端子	ミニ AV 入力端子
COMPONENT	ミニコンポーネント入力端子	ミニ AV 入力端子
OPS	拡張スロット	拡張スロット

⑱ MENU (メニュー表示)

メニューが表示されます。(31 ページ)

⑲ カーソル

項目選択、調整値変更、カーソル移動などに使用します。

⑳ RETURN (戻る)

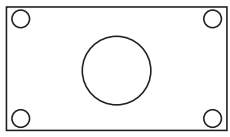
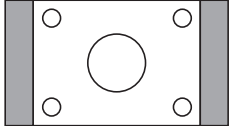
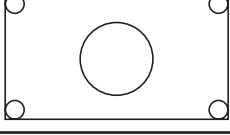
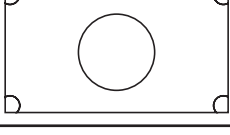
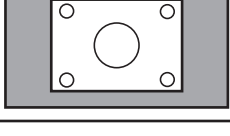
前の画面に戻ります。

㉑ F1/F2/F3/F4

本機では使用しません。

■ 画面サイズ切換について

入力信号によっては、画面サイズを切り換えても表示が変わらない場合があります。

ワイド		16:9 の比率で画面いっぱいに映します。 3840 × 2160、1920 × 1080、1280 × 720 などの 16:9 の信号に使用します。
4:3		4:3 の比率で画面いっぱいに映します。 640 × 480、800 × 600、1024 × 768 などの 4:3 の信号に使用します。 16:9 などの映像を表示すると、横方向に縮小された状態となります。
ズーム 1 ※ 1		少し拡大して映します。映像の端は表示されません。
ズーム 2 ※ 1		ズーム 1 より拡大して映します。映像の端は表示されません。
Dot by Dot ※ 1 ※ 2		入力信号の解像度どおりのパネル画素数で表示します。

※ 1 入力モードが D-SUB の場合は表示されません。

※ 2 入力モードが VIDEO、COMPONENT の場合は表示されません。

ご参考

- ・営利目的、または、公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、本機の画面サイズ切換機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- ・オリジナル映像（外部機器から入力されたテレビ放送やビデオソフトなどの映像）の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- ・市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサイズに切り換えてください。このとき、ソフトによっては画面の端にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- ・オリジナル映像のサイズによっては、画面の端に黒い帯が残る場合があります。

ファイルエクスプローラー

APPLICATION モードのホーム画面で  をタッチしてファイルエクスプローラーを起動します。



ご参考

- 本機で開くことができるファイルの一覧が表示されます。
E-board で作成された zip ファイルのみ、E-board で開くことができます。
- テキストファイルの表示は、下記の文字コードに対応しています。
UTF-8

E-board / MEMO

E-board と MEMO は、画面をホワイトボードのように使用することができます。

- 描いた線やボードに貼り付けた画像などは、「オブジェクト」という単位で扱われます。
- 本機の画面に表示した映像の上に、文字や線を描くことができます。
- 本アプリケーションでは、1 画面分のデータを「シート」と呼びます。

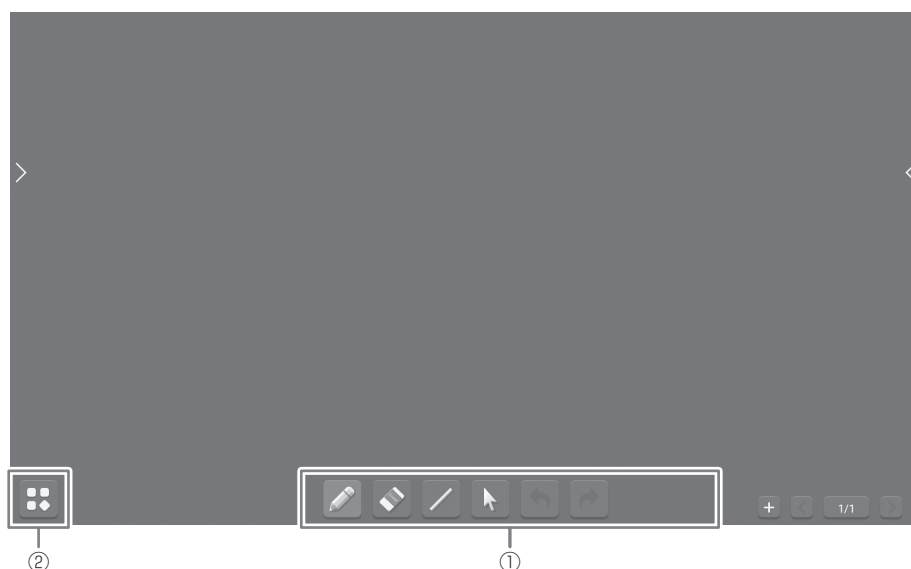
! ご注意

- 電源を切ると描画中のデータは消えます。
- USB メモリーにデータを保存するときは、後面の USB 端子に接続してください。

E-board

APPLICATION モードのホーム画面で  をタッチして、E-board を起動します。
画面をホワイトボードのように使用することができます。
最大 20 シートに描画することができます。

- 描いた線やボードに貼り付けた画像などは、「オブジェクト」という単位で扱われます。
- 本機の画面に表示した映像の上に、文字や線を描くことができます。



① 描画時に使用します。(26 ページ)

② タッチするとメニューが表示されます。



新しいボードを作成します。



保存したボードを開きます。E-board で保存したファイルのみを開くことができます。



描画しているボードを保存します。ボードは「Whiteboard」フォルダーに、独自形式の zip ファイルで保存されます。
保存したボードは、再描画することができます。



描画したボードを画像として保存します。画像は、最大 1920×1080 のサイズで保存されます。保存した画像ファイルは E-board で開くことはできません。



画像ファイルを開き、背景に設定します。



アプリケーションを終了します。

■ 描画する

1. 描画するシートを選ぶ。

保存したボードを開いたり、画像ファイルを背景に設定することもできます。

ツール	機 能
	現在のシートの後ろに、新しいシートを追加します。
	前のシートを表示します。
	現在のシートの番号と合計のシート数を表示します。タッチすると画面右側にシートの一覧（サムネイル）を表示します。サムネイルをタッチするとそのシートに移動します。  をタッチするとそのシートを削除します。
	次のシートを表示します。

2. 描画する。

描画するためのツールを選択します。以下のツール（機能）が使用できます。

ツール	機 能
 ペン	均等な幅の実線を引きます。マーカーを選ぶとマーカーのように線を引くことができます。設定（線の太さ / 色）を変えることができます。
 マーカー	
 消しゴム	描画した線を消します。
 オブジェクト消しゴム	オブジェクト消しゴムはタッチしたオブジェクトを削除します。複数のオブジェクトをまとめて削除するときは、なぞって選択します。 編集集中のシート内のすべてのオブジェクトを削除できます。
 直線	直線、矢印、破線、四角形、円を描くことができます。 線の太さや色を変えることができます。
 矢印	
 破線	
 四角形	
 円	
	タッチしてオブジェクトを選びます。複数のオブジェクトをまとめて選択するときは、なぞって選択します。移動や拡大 / 縮小などを行えます。
	ひとつ前の操作を取り消します。
	ひとつ前に取り消した操作をやり直します。

3. - とタッチして終了する。(25 ページ)

ご参考

「E-board モード」メニューで、「シングルタッチ」と「マルチタッチ」を切り換えることができます。(35 ページ)
「シングルタッチ」では、下記操作が可能となります。

- ・オブジェクトを2本指でドラッグーオブジェクトの移動
- ・ズーム（18 ページ）ー拡大・縮小

MEMO

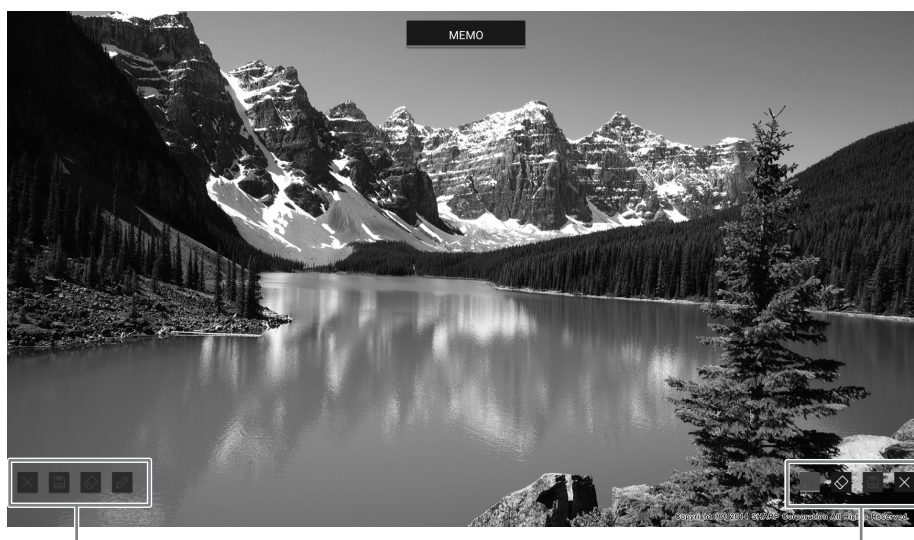
画面端の  または  をタッチして表示されるメニューから、 をタッチして起動します。

透明のボードが起動します。

HDMI 入力端子／拡張スロットからの入力映像は保存できません。

1 シートのみです。

- 描いた線やボードに貼り付けた画像などは、「オブジェクト」という単位で扱われます。
- 本機の画面に表示した映像の上に、文字や線を描くことができます。



描画時に使用します。
(下記)

■ 描画する

1. 描画する。

描画するためのツールを選択します。以下のツール（機能）が使用できます。

ツール		機 能
	ペン	均等な幅の実線を引きます。マーカーを選ぶとマーカーのように線を引くことができます。設定（線の太さ / 色）を変えることができます。
	マーカー	描いた線は、「オブジェクト」として扱われます。 手のひらなどでタッチすると自動的に消しゴムに変わります。
	消しゴム	描画した線を消します。
	オブジェクト消しゴム	オブジェクト消しゴムはタッチしたオブジェクトを削除します。複数のオブジェクトをまとめて削除するとき、なぞって選択します。 編集中のシート内のすべてのオブジェクトを削除できます。
		描画したボードを画像として保存します。「MEMO」フォルダーに保存されます。最大 1920×1080 のサイズで保存されます。
		アプリケーションを終了します。

2. をタッチして終了する。

ご参考

- 外部入力表示しているときは、前面の USB 端子に接続した USB メモリーにボードを保存することはできません。USB メモリーを後面の USB 端子に接続してください。
ワイヤレスアダプターと干渉し USB メモリーが接続できないときは、内蔵メモリーに保存したあと、ファイルエクスプローラーで USB メモリーにコピーしてください。

ファイルを再生する

静止画 / 音楽 / 動画ファイルを再生することができます。

■ 対応フォーマット

再生できるファイル形式は以下の通りです。

表に記載されていないフォーマットは、動作保証対象外です。

静止画ファイル

拡張子	最大解像度
.jpg (.jpeg)	3840 × 2160
*.png	
*.bmp	

音楽ファイル

拡張子	サンプルレート	最大ビットレート	音声コーデック
*.mp3	32/44.1/48kHz	320kbps	MPEG-1/2/2.5 L3

動画ファイル

拡張子	動画コーデック	最大解像度	最大ビットレート
.mpg (.mpeg)	MPEG1/2 (MP@HL)	1920 × 1080@30fps	40Mbps
*.mp4	H.264 (MP/HP)	1920 × 1080@60fps	62.5Mbps
	HEVC/H.265 (MP)	4096 × 2160@60fps	100Mbps
	MPEG1/2 (MP@HL)	1920 × 1080@30fps	40Mbps
	MPEG4 (SP/ASP)	1920 × 1080@30fps	
*.mkv	H.264 (MP/HP)	1920 × 1080@60fps	62.5Mbps
	HEVC/H.265 (MP)	4096 × 2160@60fps	100Mbps
	MPEG1/2 (MP@HL)	1920 × 1080@30fps	40Mbps
	MPEG4 (SP/ASP)		
*.3gp	H.264 (MP/HP)	1920 × 1080@60fps	62.5Mbps
	MPEG4 (SP/ASP)	1920 × 1080@30fps	40Mbps

拡張子	音声コーデック	サンプルレート	最大ビットレート
.mpg (.mpeg)	MPEG-1/2/2.5 L3	32/44.1/48kHz	320kbps
	MPEG-1/2 L2	16kHz - 48kHz	385kbps
	LPCM	8kHz - 48kHz	1.5Mbps
*.mp4	AAC/HEAAC	8kHz - 48kHz	AAC-LC: 576kbps V1: 288kbps V2: 144kbps
	MPEG-1/2/2.5 L3	32/44.1/48kHz	320kbps
*.mkv	MPEG-1/2/2.5 L3	32/44.1/48kHz	320kbps
	MPEG-1/2 L2	16kHz - 48kHz	385kbps
	AAC/HEAAC	8kHz - 48kHz	AAC-LC: 576kbps V1: 288kbps V2: 144kbps
*.webm	Vorbis (stereo のみ)	up to 48kHz	192kbps
*.3gp	AAC/HEAAC	8kHz - 48kHz	AAC-LC: 576kbps V1: 288kbps V2: 144kbps

※ 動画コーデックと音声コーデックの両方が対応する必要があります。

- 上記ファイルでも再生できない場合があります。
- フォルダー名やファイル名は、32 文字以内の半角英数字を使用してください。
- 1 ファイルで 4GB を超えるものは使用しないでください。

再生する

■ 再生する

1. ファイルエクスプローラーを起動し（24 ページ）、再生するファイルを表示する。
2. 再生するファイルをタッチする。
再生が始まります。

ご参考

- 同じフォルダー内に同じ再生形式のファイルがある場合、続けて次のファイルの再生が始まります。ファイル名の順に再生されます。
- 静止画再生時は、ファイルの解像度のサイズで表示されます。拡大機能（右記）で拡大することができます。
- 再生中の操作については右記をご覧ください。

■ 再生を停止する

1. リモコンの ■（停止）ボタンを押す。

再生中の操作

再生が始まると操作バーが画面下部に表示されます。表示されていないときは、画面をタッチすると表示することができます。

操作バーの表示中は、以下の操作を行うことができます。

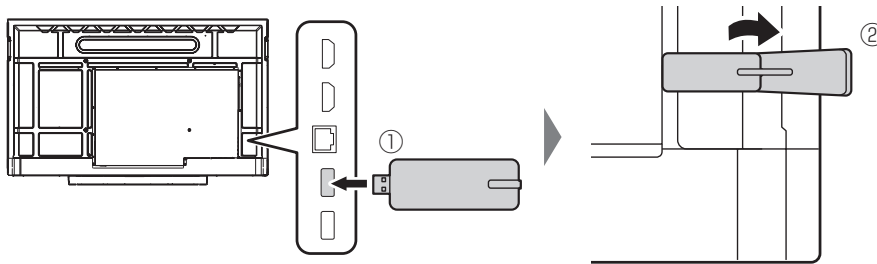
再生 (▶) / 一時停止 (⏸)	ファイルを再生する。静止画の場合はスライドショー。/ 再生を一時停止する。
早戻し (◀◀)	ファイルを早戻しする。 (音楽 / 動画のみ)
早送り (▶▶)	ファイルを早送りする。 (音楽 / 動画のみ)
前のファイル (◀)	前のファイルに戻る。
次のファイル (▶)	次のファイルに進む。
A-B リピート再生 (🔍)	開始と終了の位置を設定し、一部分を繰り返し再生する。 開始ポイント (A) を設定： 開始位置を設定する。 終了ポイント (B) を設定： 終了位置を設定する。 (動画のみ)
ランダム再生 (🎲) / 1 ファイル再生 (🎯) / 全曲再生 (🎵)	ランダム再生： プレイリスト内のファイルをランダムに繰り返し再生する。 1 ファイル再生： 選択中のファイルを繰り返し再生する。 全曲再生： プレイリスト内のファイルを順に繰り返し再生する。
再生開始時間 (🕒)	指定した時間から再生を開始する。 (動画のみ)
プレイリスト (📋)	プレイリストを表示する。 (音楽 / 動画のみ)
拡大 (🔍)	拡大表示する。(静止画のみ)
縮小 (🔍)	縮小表示する。(静止画のみ)
右回転 (↻)	一時的に表示を右に 90° 回転する。 (静止画のみ)
左回転 (↻)	一時的に表示を左に 90° 回転する。 (静止画のみ)
情報 (ℹ)	再生中のファイルの情報を表示する。
再生設定 (⚙)	ビデオ字幕： 字幕表示を切り換える。 ブレイクポイント再生： 「オープン」に設定すると、ファイルは前回停止した位置から再生されます。 オーディオトラック： 多重音声を切り換える。 (動画のみ)

ワイヤレスディスプレイ

- ・同一ネットワーク上の「他の機器」の画面に表示されている画像を、本機に表示することができます。ワイヤレスアダプターを接続した本機と他の機器を、ネットワークのアクセスポイントかワイヤレスルーターに接続します。
本機に表示した映像の上に、MEMO で文字や線を描くことができます。
- ・ソフトウェアを接続する機器にダウンロードする必要があります。詳しくは下記をご覧ください。
- ・ワイヤレスアダプターの WPS ボタンは本機では使用しません。
- ・すべての機器との接続を保証するものではありません。

■ ワイヤレスアダプターの接続

1. 付属のワイヤレスアダプターを後面の下図 USB 端子に接続する。



！ご注意

- ・ワイヤレスアダプター接続時は、隣の USB 端子に USB メモリーを接続しないでください。端子が干渉し、故障の原因となる場合があります。USB メモリーを接続する場合は、前面の USB 端子を使用してください。

■ 無線 LAN 接続の設定

1. 画面端の **◀** または **▶** をタッチして表示されるメニューから、**≡** - **⚙️** をタッチする。
2. 無線 LAN を有効にし、アクセスポイントに接続する。

■ EShareServer を起動する

1. APPLICATION モードのホーム画面で **⋮** をタッチして **📶** をタッチする。

■ 他の機器の画面に表示されている画像を表示する

Windows 機器の操作例で説明します。

1. 本機画面の EShare に表示されているアドレスにブラウザでアクセスし、画像を表示したい他の機器にソフトウェアをダウンロードする。
警告画面が表示される場合がありますが、ダウンロードを続けてください。
2. ダウンロードしたソフトウェアをインストールし、起動する。
3. 本機の EShare に表示されている本機の名前を確認し、他の機器でその名前を選択し、「画面送信」を選ぶ。
「画面受信」を選択すると、本機の画面に表示している画像を、他の機器の画面に表示することができます。
4. 他の機器が本機に接続され、他の機器の画面に表示されている画像が、本機に表示される。
5. MEMO を起動する。
表示している映像上への描画や保存ができます。

ご参考

- ・Android では音声は送られません。タッチ操作もできません。
- ・本機と他の機器の接続には無線 LAN アクセスポイントが必要です。

各種設定メニュー

メニューの基本操作

映像・音声などの調整や各種機能の設定をすることができます。ここではメニューの使いかたについて説明します。各項目の詳細は、32 ページをご覧ください。

！ご注意

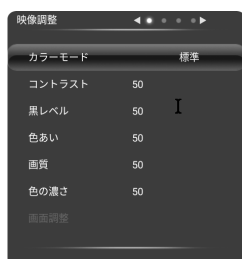
- ・メニューなどの表示中に、主電源スイッチを「切」にしないでください。設定内容が初期化される場合があります。

■ メニューの表示方法

映像メニューを表示する

1. 映像入力モード（APPLICATION 以外）に切り換える。
2. MENU ボタンを押す。

メニューが表示されます。詳細は、32 ページをご覧ください。



サイドメニューを表示する

1. 画面端の **<** または **>** をタッチして表示されるメニューから **≡** をタッチする。

- ・ : LAN（イーサネット）の有効 / 無効を設定します。
- ・ : 無線 LAN の有効 / 無効を設定します。
- ・ : システム関係の設定メニューを表示します。
APPLICATION モードで MENU ボタンを押して表示することもできます。
各項目の詳細は、34 ページをご覧ください。



- ・ : タイマーとストップウォッチを使用できます。タイマーとして使用するときは、時間を設定します。
- ・ : 画面をロックします。ダブルクリックで解除します。解除時のパスワードを設定することができます。(34 ページ)
- ・ : 音量を調整します。
- ・ : 明るさを調整します。「自動」を選択すると、照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動的に変更されます。

映像関係の設定メニュー

映像入力モード（APPLICATION 以外）に切り換え、MENU ボタンを押してメニューを表示します。

■ 映像調整

カラーモード

画面のカラーモードを切り換えます。

標準／あざやか／高照度カラー

コントラスト

映像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。カラーモードが「標準」のときに設定することができます。

黒レベル

映像信号の全体的な明るさを調整します。カラーモードが「標準」のときに設定することができます。

色あい

色相を調整します。カラーモードが「標準」のときに設定することができます。

画質

画像のシャープさを調整します。カラーモードが「標準」のときに設定することができます。

色の濃さ

色の濃さを調整します。カラーモードが「標準」のときに設定することができます。

画面調整（D-SUB）

クロック

該当映像のサンプリングクロックの周波数を調整します。縦じま状のちらつきがあるときに調整してください。

調整用パターン（36 ページ）を利用するときは、調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように調整してください。

フェーズ

該当映像のサンプリングクロックの位相を調整します。細かな文字などを出したときにコントラストがつかなくなったり、映像の端にちらつきが出るときに調整してください。調整用パターン（36 ページ）を利用するときは、調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように調整してください。

※「フェーズ」の調整は、「クロック」を正しく調整したあとに行ってください。

水平位置

映像の左右の位置を調整します。

垂直位置

映像の上下の位置を調整します。

自動調整

現在入力されている映像信号を使って、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」を自動的に調整します。

ENTER ボタンを押すと実行されます。「D-SUB」でコンピューターの画面を初めて表示させるときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、自動調整を行ってください。（36 ページ）

色温度

色温度を選びます。

画面サイズ

SIZE ボタンを押した設定と同じ設定を行います。設定内容に関しては 23 ページをご覧ください。

ノイズリダクション

映像のノイズを低減します。設定を強くするほどノイズは少なくなりますが、動画がぼける場合があります。

MPEG NR

デジタル圧縮によって発生したブロックノイズを減らします。

■ 音声調整

サウンドモード

音声モードを切り換えます。

標準／音楽／映画／スポーツ／ユーザー設定

低音

低音の音量を調整します。サウンドモードが「ユーザー設定」のときに設定することができます。

高音

高音の音量を調整します。サウンドモードが「ユーザー設定」のときに設定することができます。

バランス

音声の左右のバランスを調整します。

SPDIF

デジタル音声出力（光）端子で PCM 形式を出力するときに「する」にします。

■ 本体設定

HDMI CEC 連動

HDMI 1 入力端子は HDMI CEC に対応していません。

する.....HDMI CEC 機能を使用します。

HDMI 入力端子に接続されている機器が CEC に対応している場合、機器の再生に連動して、本機の入力モードが HDMI に変わります。

しない.....HDMI CEC 機能を使用しません。

連動電源オフ設定

接続機器を連動して電源待機状態に移行させるかどうかを設定します。HDMI CEC 連動が「する」のときに設定することができます。

デバイス情報

接続機器の名称一覧を表示します。HDMI CEC 連動が「する」のときに設定することができます。

HDMI モード

通常は、「モード 1」で使用してください。4K 非対応の機器を接続した場合などで、HDMI 1 ～ 3 入力端子で映像が正常に表示されないときは、「モード 2」に設定してください。

無信号背景色

無信号時の背景色を設定します。

FREEZE 消音

FREEZE 時に音声を消すかどうかを設定します。

バックライトオフ

「する」に設定すると、バックライトを消灯します。音声は消えません。リモコンまたは本体のボタンを押すか、画面をタッチすると、バックライトは点灯に戻ります。

各種設定メニュー

無信号オフ

映像信号を受信していない状態または操作が行われない状態が 15 分続いた場合、自動的に電源待機状態にするかどうかを設定します。

パワーセーブモード

「しない」にすると Wake on LAN が有効になります。ただし、電源待機時の消費電力が増えます。
「する」にすると Wake on LAN が無効になります。ただし、電源待機状態からの起動時間が長くなります。

無操作オフ

リモコン、タッチ、RS-232C 制御の操作がない場合に、電源待機状態に移行するかどうかを設定します。

無操作オフ - 時間

無操作オフが「する」のとき、電源待機状態になるまでの時間を設定します。

リセット

下記メニューの設定を工場出荷時の状態に戻します。

映像調整／音声調整／本体設定／時間設定

■ 時間設定

OSD 画面タイムアウト

メニューを表示する時間を設定します。

システム関係の設定メニュー

APPLICATION モードのホーム画面で画面端の  または  をタッチし、 -  をタッチします。MENU ボタンを押して表示することもできます。

■ ネットワーク

イーサネット

LAN 端子を使用するかどうかを設定します。IP アドレス、サブネットマスク等の設定を行います。

自動的に IP アドレスを取得する

ネットワークに DHCP サーバーがあり、アドレスを自動取得する場合に選びます。

静的 IP アドレス

以下を設定することができます。

IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNS 1、DNS 2

無線 LAN

無線 LAN を使用するかどうかを設定します。使用する場合、アクセスポイントに接続します。

ネットワーク接続状況

ネットワークの接続情報を表示します。

■ ロック画面

ロック画面モード

画面ロック時の背景を設定することができます。(31 ページ)

ロック画面パスワード

画面ロック時のパスワードを設定します。(31 ページ) パスワードを設定すると、電源「入」時に画面がロックされます。

■ 詳細設定

壁紙

壁紙を設定します。

日付と時刻

日付と時刻を設定します。ネットワークに接続しているときは、ネットワークから提供された日付と時刻を自動で設定することができます。24 時間表示 / 12 時間表示、タイムゾーンの選択を行うことができます。

言語

画面の表示言語を設定します。

入力方法

入力するキーボードを選択することができます。

E-board モード

タッチモードを「シングルタッチ」にするか「マルチタッチ」にするかを選びます。

バックライトオフ

有効にすると、バックライトを消灯します。音声は消えません。リモコンまたは本体のボタンを押すか、画面をタッチすると、バックライトは点灯に戻ります。

■ アップデート

通常は使用しません。ファームウェアのアップデート時に使用します。

■ リセット

設定リセット

以下の設定をリセットします。

イーサネット（LAN 端子使用）／静的 IP アドレスでの設定（IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNS1、DNS2）／無線 LAN ／ロック画面モード／ロック画面パスワード／壁紙／日付と時刻の自動設定／24 時間表示 / 12 時間表示／タイムゾーン／言語／入力方法／E-board モード

オールリセット

設定を工場出荷時の状態に戻します。

■ システム情報

システム情報を表示します。

ご参考

- 日本語入力キーボードの設定画面は、「あ」または「a」をしばらく押し続けて表示される「入力オプション」から「Mozc の設定」を選びます。

コンピューター画面の調整について

■ 自動調整

「D-SUB」でコンピューターの画面を初めて表示するときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、画面の自動調整を行ってください。

1. 入力を「D-SUB」に切り換え、調整用パターンを表示する。
(下記)
2. MENU ボタンを押し、「映像調整」メニューの「画面調整」をタッチする。
3. 「自動調整」をタッチする。

ご参考

- ・ 1 回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を 2 ～ 3 回繰り返してみてください。さらに必要に応じて、手動で微調整を行ってください。

■ 調整時の画面表示

映像調整メニューを調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。Windows をお使いの場合は、CD-ROM（付属）内の調整用パターンを利用してください。

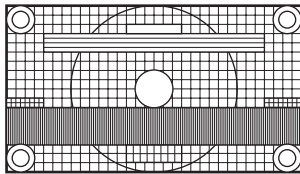
調整用パターンの表示

Windows 10 を例に説明します。

1. CD-ROM（付属）をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「PC」の CD-ROM を開く。
3. 「Monitor」フォルダーの「Adj_uty.exe」をダブルクリックする。

調整用パターンが表示されます。

自動または手動による調整を行ってください。



4. 調整が終わったら、コンピューターの [Esc] キーを押す。
調整用パターンが消えます。
5. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

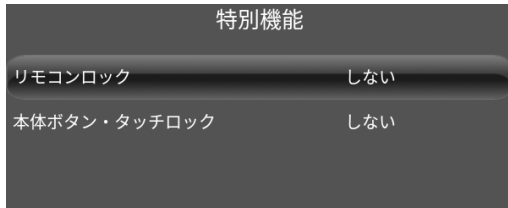
ご参考

- ・ 使用するコンピューターの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。（入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。）

機能制限設定（特別機能）

操作を制限することができます。

1. FUNCTION ボタンを押したあと、10 秒以内に MENU ボタンを押す。



2. 項目を選択して、設定を行う。

リモコンロック

リモコンによるボタン操作を禁止することができます。

しない..... 操作可能。

全ボタンロック..... リモコンの操作を禁止。

電源・音量操作以外ロック

リモコンの POWER、MONITOR ON /
OFF、VOLUME + / -、MUTE 以外の操
作を禁止。

本体ボタン・タッチロック

本体のボタンとタッチパネルの操作を禁止することができます。

3. RETURN ボタンを押して、通常画面に戻る。

ご参考

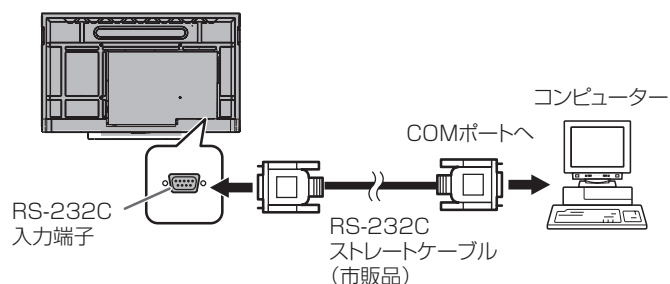
- ・「リモコンロック」が「全ボタンロック」または「本体ボタン・タッチロック」が「する」に設定されている場合でも、電源待機の際には POWER ボタンが有効です。

コンピュータで本機を制御する (RS-232C)

コンピュータの RS-232C (COM ポート) を利用して、コンピュータから本機を制御することができます。

接続のしかた

コンピュータの COM ポート (RS-232C コネクタ) と本機の RS-232C 入力端子を RS-232C ケーブル (ストレート) で接続します。本機の端子はメス型コネクタです。



通信仕様

コンピュータ側の RS-232C 通信仕様を次のように設定してください。

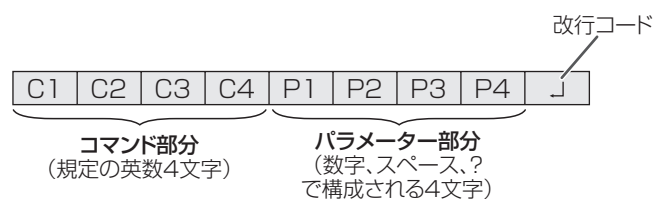
ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

■ コマンド

コンピュータから本機にコマンドを送ると、それに応じたレスポンスが返ってきます。



[例] VOLM0030
VOLM□□30

- ※ パラメーター部分が 4 文字に足りない場合は、スペース (「□」) で 4 文字になるように調整してください。
(「□」は改行コード (OD_H, 0A_H または 0D_H))
× VOLM30 □
○ VOLM□□30 □

RS-232C コマンド一覧表 (40 ページ) の中で、「方向」に「R」と入っているコマンドについては、「?」をパラメーターにすることにより、現在の設定値を返します。

[例]
VOLM ? ? ? ? ← コンピュータから本機へ
 (現在の音量設定値は?)
30 ← 本機からコンピュータへ
 (設定値: 30)

ご参考

- コマンド部分、パラメーター部分、改行コードを同時に送信してください。
- ターミナルソフトウェアでコマンドの動作を確認するときは、改行コードを同時に送信する必要があります。そのため、テキストエディターで改行コードを含む 2 行を作成し、ターミナルソフトウェアにコピーして貼り付けます。

[例]

POWR???? □

レスポンス

コマンドが正しく実行された場合

O	K	␣
---	---	---

改行コード
(0DH, 0AH)

コマンドの終了後、返信されます。

コマンドが実行できなかった場合

E	R	R	␣
---	---	---	---

改行コード
(0DH, 0AH)

ご参考

- 該当するコマンドがない場合や、現在の状態で使用できないコマンドを使用した場合などに「ERR」が返信されます。
- コンピュータと本機の接続が不完全な場合など、通信自体が成立しない状態では、「ERR」を含め返信はありません。
- 周囲環境によるノイズ等が原因で、正しくコマンドが受信できず「ERR」が返信される場合があります。システムやソフトウェアで、コマンドの再送信（リトライ）を行う等配慮してください。

コマンドの実行に時間がかかっている場合

W	A	I	T	␣
---	---	---	---	---

改行コード
(0DH, 0AH)

下記コマンドの場合、返り値として「WAIT」が返ってきます。この場合、しばらく待つと返り値が返ってきます。返り値が返ってくるまでは、コマンドを送信しないでください。

- WAIT が返ってくるコマンド
RSET、POWR、INPS、WIDE、BOMD コマンド

通信間隔について

- 必ず OK または ERR が返ってきたあとに次のコマンドを送信してください。
また、コマンドレスポンスに対するタイムアウト時間を設定するときは、10 秒以上に設定してください。
- コマンドレスポンスから次のコマンド送信までは、1000ms 以上の間隔を空けてください。

```
VOLM0020
OK
      ↓ 1000ms 以上空ける
INPS0002
WAIT
OK
```

ご参考

- オールリセットを実行したときは、電源待機状態 になります。1 分以上経過してから次のコマンドを送信してください。
- 電源「入」または「切」コマンドを送信するときは、送信するアプリケーション側でバッファをクリアすることをお勧めします。
- 電源「入」または「切」コマンドを実行したときは、1 分以上経過してから次のコマンドを送信してください。

コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

RS-232C コマンド一覧表

コマンド一覧表の見かた

コマンド： コマンド部分 (38 ページ)

方向： W 「パラメーター」をパラメーター部分 (38 ページ) に設定して使用することにより、「制御／返信内容」に書かれたように機能します。

R パラメーター部分 (38 ページ) に「????」または「□□□？」を使用することにより、「返信」に示す返り値が得られます。

パラメーター： パラメーター部分 (引数) (38 ページ)

返信： レスポンス (返り値)

ご参考

- 電源待機状態では電源制御コマンドのみが有使用できます。

電源制御／入力切替／明るさ調整

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容
電源制御	POWR	W	0		電源待機状態へ移行。
			1		電源待機状態から復帰。 ※
		R		0	電源待機状態
				1	通常動作状態
入力切替	INPS	W	0		トグルで入力切替。
			2		D-SUB
			3		COMPONENT
			4		VIDEO
			10		HDMI 1
			13		HDMI 2
			18		HDMI 3
			21		OPS 拡張スロット未装着の場合はエラー (ERR)。
			24		APPLICATION
		R		2	D-SUB
				3	COMPONENT
				4	VIDEO
				10	HDMI 1
				13	HDMI 2
明るさ調整	VLMP	WR	0-100	0-100	APPLICATION

※ 「Wake On LAN (Magic Packet)」を使用して、LAN 制御で電源を入れることができます。

コマンドによる制御で電源を入れることはできません。

映像調整メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容
画面サイズ	WIDE	W	0	0	トグルで画面サイズ切替。
		WR	1-5	1-5	1: ワイド, 2: Dot by Dot, 3: 4:3, 4: Zoom1, 5: Zoom2

音量メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容
VOLUME	VOLM	WR	0-100	0-100	
MUTE AUDIO	MUTE	WR	0-1	0-1	0: しない, 1: する

その他メニュー

機能		コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容
製品情報	型名	INF1	R		値	
	製造番号	SRNO	R		値	
オールリセット		RSET	W	0		オールリセット
バックライトオフ		BOMD	W	0		バックライトオフにする。
				1		バックライトオンにする。
			R		0	バックライトオフ
					1	バックライトオン
解像度チェック		PXCK	R		-	現在の解像度を○○○、○○○の形で返信する。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
アフターサービスについては 44 ページをご覧ください。

映像も音声も出ない

- 電源ランプが消えている
 - 本機に電源が供給されていますか。
 - 電源コードは正しく接続されていますか。(14 ページ)
 - 主電源スイッチが「切」になっていませんか。(16 ページ)
- 電源ランプが赤色に点灯している
 - 電源待機状態になっています。電源を入れてください。(16 ページ)

リモコンが動作しない

- 電池の極性 (+、-) が逆になっていませんか。(15 ページ)
- リモコンの乾電池が消耗していませんか。
- リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。(15 ページ)
- 特別機能でリモコンの操作を禁止していませんか。(37 ページ)
- リモコンのリモコン番号が変更されている場合、本機では使用できません。リモコン番号を「0」に変更してください。変更する場合は、リモコンの ID SET ボタンを押しながら、0 ボタンを、同時に 5 秒以上押してください。

リモコンの「HDMI 接続機器操作用ボタン」が動作しない

- 本体設定メニューの「HDMI CEC 連動」は「する」になっていますか。
- 一度他の入力モードに変え、再度入力モードを HDMI に変えてみてください。

音が左右逆になる

片方しか音が出ない

- 音声ケーブル（市販品）は正しく接続されていますか。

映像は出るが音声が出ない

- 消音になっていませんか。
- 音量調整が最小になっていませんか。
- 音声ケーブル（市販品）は正しく接続されていますか。

映像が乱れる

- 対応可能な信号でない場合が考えられます。
- 「D-SUB)」で使っている場合、画面の自動調整を行ってください。

HDMI 入力端子の映像が正しく表示できない

- HDMI ケーブルは 4K に対応した HDMI 規格認証品ですか。規格外のケーブルでは正しく動作しません。
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(47 ページ、48 ページ)
- 4K の垂直同期 50/60 Hz 信号に非対応のデバイスを接続するときは、「HDMI モード」を「モード 2」に設定してください。

D-sub 入力端子の映像が正しく表示できない

- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(47 ページ)

操作ボタンが効かない

画面に何も映らない

- 外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。一度本体の主電源を入れ直し、動作を確認してください。

タッチパネルが反応しない

- USB ケーブルは正しく接続されていますか。
- コンピューターを前面の映像入力端子に接続した場合は前面の TOUCH PANEL 端子 1、後面の映像入力端子に接続した場合は後面の TOUCH PANEL 端子 2、に接続していますか。
- タッチ入 / 切ボタンの設定が「切」になっていませんか？(9 ページ)

タッチパネルの反応が遅い

反応しない箇所がある

異なる場所にタッチされる

- 直射日光や強い光が当たっていませんか。本機は赤外線を利用したタッチパネルのため、正しく動作しない場合があります。
- 赤外線受発信部と操作するタッチペン・指の間に、障害物はありませんか。障害物があると正しく動作しません。タッチペンを持つ指や服の袖が画面近くにあっても正しく動作しません。
- 赤外線受発信部が汚れていませんか。汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- 約 8mm × 約 8mm より細いものでタッチしても、赤外線で検出できず正しく動作しない場合があります。
- コンピューター起動時や USB ケーブル接続時は、タッチパネルに触らないでください。タッチパネルに触れると、赤外線受発信部の素子不良として検出され、正しく動作しない場合があります。

ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

電源ランプが赤色と青色に交互点灯した後に、自動的に電源が切れ、電源ランプは赤色で点灯している

- 温度異常を防止するため、本体の内部温度が高温になると自動的に電源が切れます。
- 温度が上昇した原因を取り除いてください。
- 温度が上昇して電源待機状態になったときは、本機の電源を入れ直すことで表示状態に戻せますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、すぐにまた電源待機状態になります。(11 ページ)
- 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本体後面などの通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
- 本機の内部や通風孔にほこりがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるほこりはこまめに取り除いてください。内部のほこりの除去については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から 1 年間です（ただし、光源の LED バックライトやペン先は消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は、別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 補修用性能部品について

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打切後、7 年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ 修理を依頼される時は（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（42 ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入のの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- ・品名：インフォメーションディスプレイ
- ・形名：PN-C651H
（取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
- ・ご購入日（年月日）
- ・故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- ・お名前
- ・電話番号
- ・ご訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にお問い合わせください。

仕様

■ 製品仕様

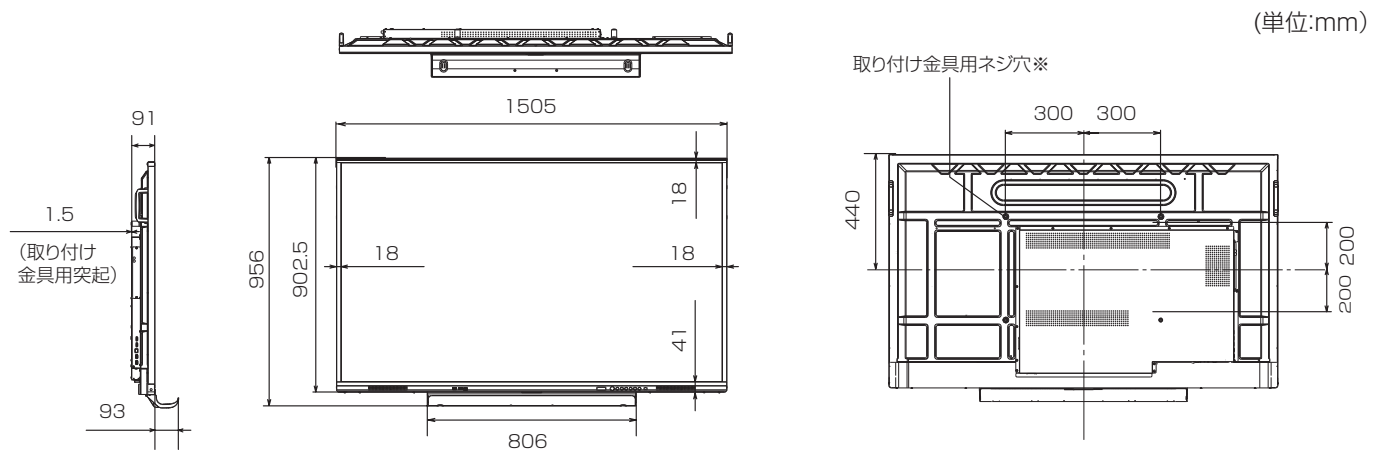
形名		PN-C651H
液晶表示素子		65V 型ワイド（対角 163.9cm）TFT 液晶
最大解像度		3840 × 2160
最大表示色		約 10.7 億色
画素ピッチ		水平 0.372mm × 垂直 0.372mm
輝度（標準値）		400cd/m ² ※ 1
コントラスト比（標準値）		4000 : 1
視野角		左右 176° / 上下 176°（コントラスト比 ≥ 10）
表示画面サイズ		横 1428.5mm × 縦 803.5mm
映像入力信号		アナログ RGB（0.7Vp-p）[75 Ω]
同期入力信号		水平／垂直セパレート（TTL：正／負）
プラグ&プレイ		VESA DDC2B 対応
入力端子	映像	ミニ D-sub15 ピン（3 列）（1 系統） HDMI（3 系統） ミニ AV（1 系統） ミニコンポーネント（1 系統）
	シリアル （RS-232C）	D-sub9 ピン（1 系統）
	音声	φ 3.5mm ミニステレオジャック（1 系統）
USB 端子		USB 2.0 準拠（A タイプ）（3 系統）
出力端子	音声	φ 3.5mm ミニステレオジャック（1 系統） デジタル音声出力（光）（1 系統）
システム	CPU	Arm Cortex-A53（クアッドコア）
	メモリー	1GB
	ストレージ	8GB
	LAN 端子	10BASE-T/100BASE-TX（Wake on LAN 用）
無線 LAN		IEEE802.11ac/n/a/g/b 準拠（ワイヤレスアダプター接続時）
拡張スロット		19V、4.74A（別売品での機能拡張時の供給電力）
スピーカー出力		10W+10W
タッチパネル	検出方式	赤外線遮断方式
	コンピューター接続 端子	USB（2.0 準拠）（B タイプ）（2 系統）
電源		AC100V、3.4A、50/60Hz
使用温度条件※ 2		5 ～ 35℃
使用湿度条件		20 ～ 80%（結露なきこと）
消費電力※ 3（電源待機時※ 4）		300W（0.5W）
外形寸法（突起部を除く）		幅約 1505mm × 奥行約 91mm × 高さ約 902.5mm
質量		約 45kg
梱包時寸法		幅約 1684mm × 奥行約 216mm × 高さ約 1018mm
梱包時質量		約 56kg

- ※ 1 輝度は、入力モードや映像調整の設定などにより変わります。また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。液晶パネルの輝度であり、製品の輝度とは異なります。
- ※ 2 別売品を付けると温度条件が変わる場合があります。別売品取り付け時の温度条件は、別売品の説明書をご確認ください。
- ※ 3 拡張スロットに別売品を装着時。未装着時は 200W。
- ※ 4 「パワーセーブモード」が「する」の場合。
「パワーセーブモード」が「しない」で、別売品未装着時の場合は、2.0W。

仕様

■ 寸法図

数値はおよその値です。



※ VESA 規格の金具の取り付けには、M8 ネジで、長さが取り付け金具の厚さ +10 ~ 15mm のものを使用してください。(50 ページ)

■ PC 対応信号タイミング

画面解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドット周波数 (MHz)	デジタル HDMI	アナログ D-SUB
VESA	640 × 480	31.5	60	25.175	○	○
		37.9	72	31.5	○	○
		37.5	75	31.5	○	○
	800 × 600	35.1	56	36.0	—	○
		37.9	60	40.0	○	○
		48.1	72	50.0	○	○
		46.9	75	49.5	○	○
	848 × 480	31.0	60	33.75	—	○ ※2
	1024 × 768	48.4	60	65.0	○	○
		56.5	70	75.0	○	○
		60.0	75	78.75	○	○
	1280 × 768	47.8	60	79.5	—	○ ※2
		60.3	75	102.25	—	○ ※2
	1280 × 800	49.7	60	83.5	○	○ ※2
	1280 × 960	60.0	60	108.0	○	○
	1280 × 1024	64.0	60	108.0	○	○ ※2
		80.0	75	135.0	○	○ ※2
	1360 × 768	47.7	60	85.5	○	○
	1400 × 1050	65.3	60	121.75	○	—
	1440 × 900	55.9	60	106.5	○	○ ※2
	1600 × 1200	75.0	60	162.0	○	○
	1680 × 1050	65.3k	60	146.25	○	—
ワイド	1280 × 720	44.7	60	74.4	○	○
	1920 × 1080	67.5	60	148.5	○	○
	3840 × 2160	54.0	24	297.0	○	—
		56.3	25	297.0	○	—
		67.5	30	297.0	○	—
		67.5	50 ※1 ※3	297.0	○	—
		67.5	60 ※1	297.0	○	—
	4096 × 2160	54.0	24	297.0	○	—
		54.0	25	297.0	○	—
		54.0	30	297.0	○	—
		54.0	50 ※1 ※3	297.0	○	—
		54.0	60 ※1	297.0	○	—
US TEXT	720 × 400	31.5	70	28.3	○	○ ※2

※ 1 「HDMI モード」 が 「モード 1」 のとき対応。

※ 2 アスペクト比を保持したままで映像を表示することはできません。

※ 3 動画がスムーズに表示されない場合があります。

- ・ 接続するコンピュータによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。

■ AV 対応信号タイミング

画面解像度	周波数 (Hz)	HDMI	コンポーネント
4096 × 2160p	24	○	—
	25	○ ^{※1}	—
	30	○ ^{※1}	—
	50 ^{※2}	○	—
	59.94	○	—
	60	○	—
3840 × 2160p	24	○	—
	25	○	—
	30	○	—
	50 ^{※2}	○	—
	59.94	○	—
	60	○	—
1920 × 1080p	24	○	—
	50 ^{※2}	○	○
	59.94	○	○
	60	○	○
1920 × 1080i	50 ^{※2}	○	○
	59.94	○	○
	60	○	○
1280 × 720p	50 ^{※2}	○	○
	59.94	○	○
	60	○	○
720 × 576p	50 ^{※2}	○	○
720 × 480p	59.94	○	○
	60	○	○
640 × 480p (VGA)	59.94	○	—
	60	○	—
720 (1440) × 576i	50 ^{※2}	○	○
720 (1440) × 480i	59.94	○	○
	60	○	○

※1 「HDMI モード」が「モード2」のとき対応。

※2 動画がスムーズに表示されない場合があります。

ご参考

- ・ HDMI 入力時に INFORMATION ボタンで 入力信号を表示すると、「3840 x 2160」の形式ではなく、「2160p」のような「xxxxp」表示となります。

■ DDC (プラグ&プレイ)

本機は、VESA の DDC (Display Data Channel) 規格をサポートしています。

DDC とは、ディスプレイとコンピューターのプラグ&プレイを行うための信号規格です。ディスプレイとコンピューターの間で解像度などに関する情報を受け渡します。この機能は、コンピューターが DDC に対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。

DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2B に対応しています。

■ 無線 LAN で使用できるチャンネル

規格	チャンネル	周波数帯域 (中心周波数)
IEEE802.11b/g/n	1 ~ 13 チャンネル	2412MHz ~ 2472MHz
IEEE802.11a/n/ac	36/40/44/48 チャンネル (W52)	5180MHz ~ 5240MHz
	52/56/60/64 チャンネル (W53)	5260MHz ~ 5320MHz
	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネル (W56)	5500MHz ~ 5700MHz

- ・ 5.2GHz/5.3GHz 帯 (W52/W53) は、電波法により屋外での使用が禁止されています。

使用している知的財産権など

■ 使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下のWEB サイトをご覧ください。

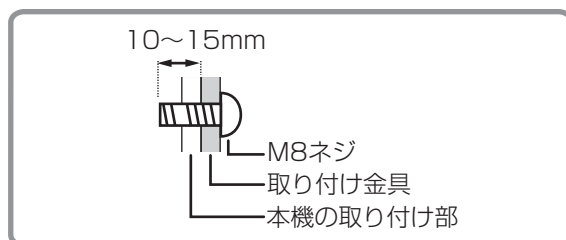
<https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/source.html>（シャープ GPL 情報公開サイト）

なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

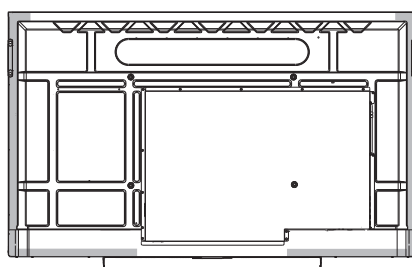
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

設置時の注意事項（ご販売店・設置業者様用）

- 設置や取り外し、移動の際は、4人以上で行ってください。
- 取り付け金具は、本機の4倍の質量に耐えるものを使用してください。
- VESA 規格の金具の取り付けには、M8 ネジで、長さが入付け金具の厚さ +10 ~ 15mm を使用してください。



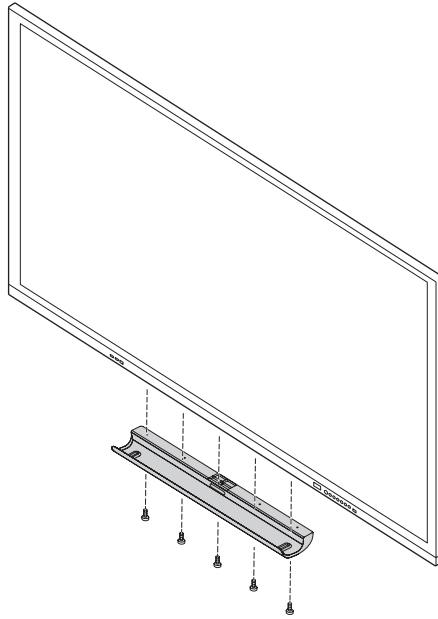
- 壁や天井などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に取り付けてください。
- インパクトドライバーを使用しないでください。
- 移動するときなどは、取っ手または下図の  の部分を持ってください。画面やトレーを持たないでください。破損や故障、けがの原因となることがあります。



- 設置の際、台の上などに仮置きする場合は、画面や台が傷つかないように厚手の柔らかい布（毛布など）を敷いてください。
- 再梱包時や、取り外しの際は、トレーを取り外してください。
- 本機を設置したあとは転倒防止策を実施することをお勧めします。
- 後面の取り付け金具用ネジ穴以外のネジ穴は設置に使えません。

■ トレーの付けかた

トレーを、トレー取付ネジ（M3x15）（付属）5 個で固定します。



シャープ株式会社

本 社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
ビジネスソリューション事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

●住所などは変わることがあります。(2020.12)

PN-C651H M JA20M(2)